

(2) 灘防犯協会

〔目的等〕

防犯協会は、“自分の住む街の安全は、自らの手で”との考えのもとで、それぞれの地域において、犯罪のない住み良い社会の実現を目標に立ち上がったボランティアの方々によって創立されました。この防犯協会は、その歴史の長さや活動の多様さにおいて世界に誇れる民間防犯の組織です。

我が国は、世界の多くの人々から、最も安全な国のひとつとして評価されてきていますが、その基礎となっているのが、地域の人々による安全な地域社会づくりへの貢献・努力です。

企業社会の進展に伴って、地域防犯の組織化と共同活動の推進にも力を入れ、地域・職域を一体とした民間防犯団体として活動しています。

〔主な活動〕

- ◎防犯パトロール
- ◎防犯診断
- ◎地域安全ニュースの発行
- ◎防犯知識の普及
- ◎困りごとや防犯に関する相談活動
- ◎自転車防犯登録の普及
- ◎優良防犯・防災機器のすすめ



〔活動組織・人数〕

防犯協会各支部／〔23支部〕約700名

《兵庫県灘警察署生活安全課より》

— 安全安心MEMO —

(3) 防犯連絡所

「防犯連絡所」は、防犯協会各地域の支部長または町会長、自治会長等の推薦により、防犯協会長が警察署長と協議して依頼することにより設置される、地域の安全のために活動するボランティアです。

「防犯連絡所」には、「防犯連絡所」表札や防犯灯などの標識を公衆の見やすい箇所に掲げるものとされています。

2010年2月現在、灘区内の防犯連絡所は、721軒です。



防犯連絡所

〔主な活動〕

- ◎日常生活を通じて、身の回りで発生した犯罪や事故の発生と安全対策等についての広報啓発
- ◎防犯パトロール・一戸一灯運動など地域安全活動の実施や参加者の募集
- ◎子どもの通学路、公園などにおける防犯上の死角、非行少年のたまり場など地域の安全診断を実施し、地域の方と共同して防犯灯の設置など、防犯性の高い環境づくり
- ◎一人暮らしのお年寄り、児童のみが在宅となる家庭など、犯罪の被害を受けやすい人を守るための訪問、電話連絡
- ◎身の回りでの犯罪、事故発生時の警察への通報

《兵庫県灘警察署生活安全課資料より》

(4) 少年補導員連絡協議会

〔目的等〕

少年補導員連絡協議会は、少年の行動を観察しながら、非行の芽や危害の発生を早期に発見し、少年が加害者にも被害者にもならないよう指導する団体で、地域から推薦された少年補導員で構成されます。

〔主な活動〕

警察との緊密な連携の下に、夏休み・年末・年始のパトロールや夜間パトロール、街頭啓発活動など。

〔事務局〕

県警本部・各警察署

〔構成員〕

地域から推薦された少年補導員／神戸市内に約800名（うち灘区内に75名）